



www.sit.ac.jp



埼玉工業大学 〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺 1690  
TEL.048-585-2521(代表) / FAX.048-585-2523(代表)

LINE@



# SIT Freak

SAITAMA INSTITUTE OF TECHNOLOGY'S CAMPUS LIFE MAGAZINE

[ SIT フリーク ]



[ 特集 ]  
熱中  
セヨ。



特集

# 熱中

あなたは今、夢中になれるものがありますか？

今号では埼玉工業大学の学生が熱中しているものにフォーカスしました！

学びや研究はもちろんのこと、部活やサークルに打ち込む学生もいれば、

アルバイトや、旅行や音楽などの趣味に情熱を燃やす学生もいます。

そうした学生時代に経験する1つひとつが積み重なって

自分を形づくり、成長させてくれる。

それは、真剣に、楽しみ、熱中していればいるほど！

みなさんも、埼玉大で自分が熱中できるものを見つけてみませんか？

## STUDENTS

(左から)

深澤 秀輔 さん  
工学部 情報システム学科 IT専攻 1年

山口 千鶴 さん  
人間社会学部 心理学科 臨床心理専攻 4年

行方 優斗 さん  
人間社会学部 情報社会学科 経営システム専攻 4年

飯塚 智美 さん  
人間社会学部 心理学科 臨床心理専攻 4年

宮澤 紅映 さん  
人間社会学部 心理学科 ビジネス心理専攻 1年

入澤 駿 さん  
工学部 情報システム学科 IT専攻 3年



カメラに熱中!



01 神庭 勇輝 さん  
工学部 情報システム学科 IT専攻 3年

カメラを持っている人ってかっこいいなと思って(笑)、デジタル一眼を買いました。景色や神社を撮りたくて撮影旅行にもよく行っています。

軽音部に熱中!



02 山口 千鶴 さん  
人間社会学部 心理学科 臨床心理専攻 4年

コピーバンドのヴォーカルやっています! ライブでステージと客席を走り回りながら、みんなが盛り上がっている様子を見るのが大好き!

バスケットに熱中!



03 与那覇 遥 さん  
人間社会学部 情報社会学科 経営システム専攻 2年

両親も兄もバスケット好きな「バスケット家」です(笑)。ポジションはガード。自分がボールを持っている瞬間が一番気持ちいい!

学園祭に熱中!



07 畔上 拓也 さん  
工学部 情報システム学科 IT専攻 2年

約70人の実行委員会の副委員長として、本番の成功目指して動き回っています。外部とのやりとりも多く、いろんな経験ができるのが楽しい!

非アイドルに熱中!



08 小林 明日香 さん  
工学部 生命環境化学科 応用化学専攻 2年

「超特急」という、ダサかっこいい「非アイドル」にハマっています! 歌もダンスもよくって、聴いているとテンションが上がります!!

フットサルに熱中!



09 深澤 秀輔 さん  
工学部 情報システム学科 IT専攻 1年

小学生の頃からサッカー一筋。今は週2回ペースでフットサルを楽しんでいます。やはりゴールを決めたときの爽快感は格別ですね!

在学生に聞いてみた。

WHAT ARE YOU PASSIONATE ABOUT?

# いま何に「熱中」してる?

音楽に熱中!



10 本田 優女 さん  
工学部 生命環境化学科 応用化学専攻 2年

日韓の女性グループ、IZ\*ONEが好きで、ライブにも行きました! みんなスタイルも良くて、あんなふうになれたらいいですね!(笑)

登山に熱中!



11 石川 悟 さん  
工学部 情報システム学科 電気電子情報専攻 2年

高校時代から山岳部で、今もOBとして一緒に登って指導したりしています。北アルプスもいですが、今年は富士山にも登りたいです!

紅茶に熱中!



12 静野 有華 さん  
人間社会学部 心理学科 臨床心理専攻 3年

いろんな種類の茶葉を買って飲み比べたりしています。入れ方やお湯の温度によっても味や香りが全然変わるのが楽しいです。

ボランティアに熱中!



04 富山 昇賢 さん  
工学部 生命環境化学科 バイオ・環境科学専攻 3年

震災復興支援やイベントスタッフなど、様々な活動に参加しています。普段の生活では知り合えないような人と出会えることも魅力です。

K-POPに熱中!



05 宮澤 紅映 さん  
人間社会学部 心理学科 ビジネス心理専攻 1年

「防弾少年団(BTS)」というグループが大好き! メンバー同士の絆とか性格の良さが現れていて良いんです。いつかはライブに行ってみたい!

勉強に熱中!



06 宮崎 恭輔 さん  
人間社会学部 情報社会学科 メディア文化専攻 2年

いまは教職課程をとるための勉強に熱中しています。中学校の先生になりたいんです。生徒との距離が近くて信頼される教師を目指します!

部活に熱中!



13 行方 優斗 さん  
人間社会学部 情報社会学科 経営システム専攻 4年

高校から続けているラグビーで、仲間と一緒に毎日練習の日々です。ビッグヒットで相手をひっくり返るのが醍醐味!

サークルに熱中!



14 飯塚 智美 さん  
人間社会学部 心理学科 臨床心理専攻 4年

創作サークルでいろんな小物を作り、学園祭や七夕まつりなどで販売しています。デザインを考えたり、自分の世界に没頭して楽しんでいます。

ゲームに熱中!



15 入澤 駿 さん  
工学部 情報システム学科 IT専攻 3年

ゲームでは、倒した相手の数や結果が数字で表されて記録が残るところがいい! 大会出場を目指してチームで協力したりしています。



ホラニ 龍コリニアシコーチ

所属： パナソニック ワイルドナイツ

役職： FWコーチ

PROFILE

1981年トンガ生まれ。埼玉工業大学出身。ワイルドナイツの選手として2011年・2015年ワールドカップの日本代表に選出。

スリアシトル 選手

所属： パナソニック ワイルドナイツ

ポジション： プロップ

PROFILE

1993年フィジー生まれ。埼玉工業大学出身。大学時代は主将を務める。2019年、ワイルドナイツに加入。

ヴァル アサエリ愛 選手

所属： パナソニック ワイルドナイツ

ポジション： プロップ

PROFILE

1989年トンガ生まれ。埼玉工業大学出身。2017年から日本代表に選出。ニックネームは「アサ」。

行方 優斗 選手

所属： 埼玉工業大学ラグビー部

ポジション： フランカー/No.8/フルバック

PROFILE

ラグビー部主将。人間社会学部 情報社会学科4年。群馬県高崎工業高等学校出身。

高村 啓太 選手

所属： 埼玉工業大学ラグビー部

ポジション： スタンドオフ

PROFILE

ラグビー部副将。工学部 情報システム学科4年。群馬県太田工業高等学校出身。

ノフォムリ タウモエ フォラウ氏

所属： 埼玉工業大学ラグビー部

役職： シニア・アドバイザー

PROFILE

大東文化大学出身、元三洋電機所属。日本代表選手として第1回ワールドカップに出場経験あり。



TALK SESSION

# 「熱中」のその先に

ラグビーワールドカップ2019日本代表選手に聞く、「熱中」のその先で手にした、果てしなく大きな夢とは。

今年、開催されるラグビーワールドカップ2019(以下、RWC2019™)。埼玉県熊谷市の県営熊谷ラグビー場も開催場に指定され、日本一暑い熊谷で最も熱い戦いが幕を開きます。そこで今回、埼玉大ラグビー部の二人が、埼玉大出身のパナソニック ワイルドナイツのメンバーにインタビュー！ 日本代表として活躍していたホラニ 龍コリニアシコーチをはじめ、現役日本代表のヴァル アサエリ愛選手、そして昨年まで埼玉大ラグビー部に所属していたスリアシトル選手に、プロになり活躍するまでのお話を伺いました！



今回登場の3選手が活躍中！  
**パナソニック  
ワイルドナイツ**

1960年創設のパナソニック ワイルドナイツは、その戦歴やプレースタイルなどから、以前より「野武士集団」の異名をもっていました。2003年、国内のトップリーグ創設を機に、一般公募によって「パナソニック ワイルドナイツ」となりました。これまでトップリーグの過去15シーズン中、優勝4回・準優勝5回という輝々たる戦果を残している強豪チームです。本学出身の選手も多数活躍！ 本拠地は群馬県太田市。



TALK SESSION

「熱中」のその先に



大切なのは、迷わずに前だけを見つめて突き進む「強さ」と「勇気」

行方： 自分もフィジカルを鍛えているつもりでしたが、やっぱりプロとなるとつぎが全然違いますよね。体づくりに必要なこととか、タックルとか当たりが強くなる秘訣とかってありますか？

ヴァル： 学生時代と大きく違うのは、食事です。食事はフィジカルの源だから、ここ（パナソニック ワイルドナイツ）では体づくりに必要な栄養素やカロリーを専門家が計算して選手に食事が出てくる。体が資本だから、食事は大事だと思うよ。

スリアシ： 確かに、学生の時のようにコンビニ弁当やラーメンのようなジャンクフードは取ってないね。それに、学生時代の練習よりかなり密度の高い内容をこなしていると実感する毎日だよ。

行方： ウェイトトレーニングとか結構やっていたつもりだったんですけど、それ以上ってことですか？

スリアシ： 学生時代の練習以上というより、全く違うといっても過言じゃないかも。2時間の練習メニューを1時間で終わらせるような密度があるし、ウェイトトレーニングなんて、会話をする余裕もないくらい真剣に取り組んでるよ。

ノフオムリ： 話しながらできるトレーニングなんてダメってことだね。もっと強くなりたいなら。

ホラニ： 自分一人でやろうと思ってもなかなかできないから、「喋ってないで真剣にやろう」とか、チームメイト同士で声を掛け合うことが大事だよ。互いに高めていこうと



いう意識を持たないとチームとして強くはなれないからね。

スリアシ： プロになってからすごく感じるのは、チームメイトの「プロとしての意識の高さ」。周囲の意識が高いから、必然的に自分の意識も変わってくる。プロになって、いかにチーム内での声掛けや意志の疎通が大切だったか実感してるよ。

ホラニ： 僕の場合、学生時代は力をセーブしてたことがあったんだけど、プロになってからもそれで

どうかなと思ってたところがあって。ところが、プロで活躍するためには、自分の持てる100%で向かって勝つことが難しく、それがプロとしてのマインドの差なんだと思ったんだ。

ヴァル： プロで活躍するためには、チームの戦術を頭に置きながら、自分の持てる力を発揮しないとイケない。それを支えてくれるのが日々の練習の積み重ねだと思う。プロになった時大変だったけど、プロになり試合に出られるようになってからの方が大変だったね。

高村： やっぱりプロになると意識が変わってくるんですね。試合前のモチベーションの持っていく方とかも工夫してたりしますか？ 良いリラックス方法とかあれば教えてください。

ホラニ： 緊張し過ぎるのも良くないけど、それ以上に気を抜くのもダメ。良い緊張感を保ちながら、体をほぐして試合に臨む……そのバランスが大事だよ。



我を忘れるぐらいにラグビーに「熱中」した先に見えた、世界への扉

ヴァル： 試合直前ではなく、試合までに自分の最高の状態を持っていくかを考えながら、毎日の練習をやるのが大切な。それを心掛けることで、試合前に良い感じにリラックスすることもできるからね。

高村： なるほど、勉強になります。練習に取り組む心構えなど、意識を変えていくことはすぐにでもできると思うので、見習いたいですね。

行方： プロとして活躍されているみなさんが感じているラグビーの魅力ってなんですか？

ホラニ： ラグビーはどんな体格の人でも興味があれば始められるとこかな。大きい人も小さい人も、自分の体にあったポジションがあるからね。

高村： そうですね。僕も元々高校までは野球をやっていた、ラグビーは大学から始めました。初めは全く違う競技に戸惑いましたが、チーム

メイトにサポートしてもらいながら練習をしていくうちに、足を生かしたスピード重視の自分のスタイルが見えてきました。

ホラニ： そうそう！ それまで全然違う競技をやっていたとしても、それまでの経験が生かせるから、興味が

あるという理由で他競技から移ってくる人も多いよ。いろんな人にぜひチャレンジしてもらいたいね。

ヴァル： あとは試合じゃないと行かない国に行けたりするのも楽しいね。ラグビーって、試合中は殺し合いだ！ くらいの勢いがあるけど、試合が終われば敵も味方も関係なく友達になれる。それこそチームどころか、国すら関係なく、ラグビーを通して友達が増えていくのは嬉しいよ。



高村： 面白いですね。そういったところは、他の競技とは全然違います。そんなみなさんの次の目標は何ですか？

スリアシ： まずは強いスクラムを組めるようになること！ チーム内で活躍できるように頑張っていきたいです。

ヴァル： 日本代表としてワールドカップで活躍するのはもちろんのこと、来年、パナソニック ワイルドナイツに戻ってきたら、次のトップリーグで良い成績を残したいですね。

ホラニ： 今年からコーチとなり、選手の頃と比べ、自身の考え方も変わってきました。選手時代は、自分のことだけを考えれば良かったけど、今は選手一人ひとりの特性を伸ばしながら、チーム全体の底上げを図っていく必要があると考えています。リーグ優勝を目指して、まずは強いパナソニックを見せていきたいですね。

行方： 僕たちもみなさんの話を聞いて、ますます頑張らなければいけないな。僕も含め、チームの意識改革はもちろん、次こそは3部リーグを目指して邁進していきたいですね！

高村： みなさん、貴重なお話しありがとうございました！ 今年はワールドカップということもあり、これをきっかけにラグビーに興味をもってくれる人が増えるといいですね。



ラグビーワールドカップ2019日本大会いよいよ開催！

DATE 2019.09.20 → 11.02

4年に1度開催される、世界三大スポーツイベントのひとつがラグビーワールドカップ。その世界的なラグビーの祭典が今年アジアで初めて、日本で開催されます。世界中の20の国と地域から強豪チームが日本に集結し、熱戦を繰り広げます。試合は北海道から大分まで、全国12の都市で行われます。前回のワールドカップで優勝候補の南アフリカを破って世界中を驚かせた日本代表チームが、今大会でも日本中を沸かせてくれること確実！！







# 埼玉工業大学「esports プロジェクト」、始まる。

## これからの情報化社会に適合した「学生主体の産学連携プロジェクト」

本学では学生の自主的な創造活動として学生プロジェクトという多数の学生団体の活動を支援しており、今回新たに「esportsプロジェクト」が加わります。学内の全学部・学科からesportsに関心の高い有志が集まり「esportsプロジェクト」を発足し、株式会社サードウェブからのアドバイス等も受けて、産学連携により活動を行っています。また、埼玉大は北関東に位置する工業大学として、文理共にITを重視する、特徴のある教育を実

践してきましたが、従来の情報社会学科(文系)、情報システム学科(理系)でのIT教育の内容についての取り組みに加え、本年4月から他大学に先駆けて工学部情報システム学科にAI専攻を創設、工学部機械工学科ロボティクス専攻をロボット・スマート機械専攻に名称変更するなど、これからの情報化社会に適合した先進的な教育を拡大しています。

### QUESTION!!

「esports」って  
どんなもの？

esportsとは、コンピューターゲームを使って複数のプレイヤー同士で対戦する競技のこと。海外では大規模な大会が数多く開催され、オリンピックの正式種目として検討されているほどです。日本でも急速に注目が高まっており、ゲーム会社、パソコン周辺機器メーカー、出版社、テレビ局などが加盟し「日本eスポーツ連合」発足、センサーと契約を結ぶプロゲーマーの活躍も目立ちます。



## 埼玉工業大学 esportsプロジェクトの活動理念

### 1 スポーツマンシップ

esportsプロジェクトを通して、思いやり(リスペクト)など、人として正しい行いを学び、身につける。

### 2 スキルアップ

esportsプロジェクトを通して、コミュニケーション、IT、ゲーム、3つのスキルについて、個々、そしてメンバー同士で高め合い、向上を目指す。

### 3 学業両立

esportsを楽しむことはもちろん、学生の身分である学業にも力を入れ文武両道を目指す。

## STUDENTS' CROSS TALK

### 「僕らがesportsプロジェクトを立ち上げた理由」



入澤 駿さん  
工学部 情報システム学科  
IT専攻 3年



三上 夏南太さん  
人間社会学部 情報社会学科  
経営システム専攻 4年



藤倉 咲さん  
工学部 情報システム学科  
IT専攻 4年



福島 初紀さん  
人間社会学部 情報社会学科  
経営システム専攻 3年

### 拡大しているesports市場 みんなが熱中するその魅力は——

入澤: esportsの魅力は、「スポーツ」というだけあって、その競技性の高さにあります。個人で技術を磨くだけでなく、作戦があり、それをチームワークで乗り越えていく。僕だけでなく、そこに魅力を感じる人は多いと思います。

福島: 僕は元々バスケをやっていて、スポーツの面白さで練習を重ねることで自分の成長を実感できることに思うんです。esportsも同じで、続けることで上達していくのが

かるので、バスケをやっている時のような達成感を得られるのが魅力だと思っています。

三上: esportsには夢があると思うんです。海外ではプロゲーマーが活躍し、職業として確立されています。YouTuberとか今じゃ普通に仕事として成り立っていますが、昔前までは考えられませんでした。それと同じことがesportsでも起こるかもしれないと思うとワクワクしてきます。

藤倉: 確かにそう考えると将来性があるって、面白い分野ですよね。僕は実際にesportsの大会に行ったことがあるんですが、みんなと同じように、esportsに魅力を感じた参加者が多いため仲間意識が芽生えやすく、コミュニケーションを交わすのも面白かったです。



### 興味があれば気軽に参加してほしい 和を広げながら成長していける

福島: ゲームが好きなら、同じ趣味同士で友達づく



りのきっかけにしても良いと思いますよ。  
藤倉: 大学生活を楽しく過ごすために参加してくれるのも大丈夫。大切なのはプロジェクトを通して、輪が広がっていくことだと思うので。

入澤: esportsは、仲間と切磋琢磨しながら技術を高め、チームワークを培っていくものです。こういった経験は、学生時代だけでなく、社会に出てからも役に立つと思います。

三上: 日本ではまだ歴史が浅いesportsです。僕たちメンバーもトライ&エラーを繰り返しながら活動をしているので、面白そうだと感じたら気軽に参加してほしいですね。



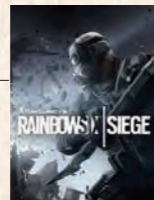


**鈴木 海斗** さん  
工学部 情報システム学科  
電気電子専攻 1年

MY FAVORITE GAME

**レインボーシックスシージ**  
(ユービーアイソフト)

チームで戦略を練ったり、  
一人で相手の動きを考えたり。  
いつかは大会への出場も！



基本は5対5で対戦するゲームで、仲間とチームでプレイしたり、一人で知らない人と組んで対戦したりしています。今はPS4ですが、今後は世界中のプレイヤーと繋がるPC版でもやりたいですね。



**入澤 駿** さん  
工学部 情報システム学科  
IT専攻 3年

MY FAVORITE GAME

**APEX LEGENDS**  
(Electronic Arts)

生き残りを賭けた無人島での  
“バトルロワイヤル”敵と戦うか避けるか、  
常に考えを巡らせる！



無人島に降り立って、最後まで生き残りを競う「バトルロワイヤル」ゲームですが、敵と戦う、避ける、武器を手に入れる、と常に考えて瞬時に判断しなくちゃならないのが難しいけど楽しいところです！

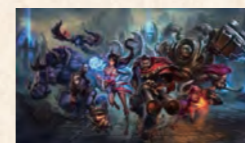


**浦尾 航平** さん  
工学部 情報システム学科  
IT専攻 3年

MY FAVORITE GAME

**LEAGUE OF LEGENDS**  
(ライアットゲームズ)

世界中のゲーマーが対戦相手！  
esportsの種目としても注目！



週末、バイトに行くまでの時間にプレイしています。まさに至福のひとつ(笑)。どんなピンチの場面でも諦めず、仲間と協力して相手に勝ったときの喜びは、本当に格別です！



**五十嵐 翔** さん  
工学部 情報システム学科  
IT専攻 1年

MY FAVORITE GAME

**#コンパス 戦闘摂理解析システム**  
(NHN PlayArt/ドワンゴ)

3対3のバトルも盛り上がるけど  
仲間とのコミュニケーション機能も  
このゲームの魅力



仲間3人とチームを組み、相手チームに勝つためにお互いに協力しあっているプレイは、広い視野や分析力の向上にも役立っています。3人の時間調整が必要だけど、そのぶんログインしたら盛り上がる！(笑)

# WHAT'S YOUR FAVORITE?

Vol.2



ゲーム好きの学生たちに聞きました

## 「いま一番ハマっているゲームは？」



**大浦 真也** さん  
工学部 情報システム学科  
電気電子情報専攻 3年

MY FAVORITE GAME

**スプラトゥーン2**  
(任天堂)

イカやタコのようなキャラ装備には筆やバスタブも。  
独特の世界観が楽しい！

Wii Uの頃からやっていて、今はNintendo Switchでプレイしています。オリジナルな世界観と、コントローラーのジャイロセンサーを使って遊ぶのも特徴。esportsプロジェクトの人達とスプラトゥーン甲子園に出たいですね。



**岡崎 勇人** さん  
人間社会学部 情報社会学科  
メディア文化専攻 1年

MY FAVORITE GAME

**グリムノーツ Repage**  
(スクウェア・エニックス)

スマホ用アクションロールプレイングゲーム  
日々のスキマ時間に手軽に楽しめるのがいい！

グリムノーツは、“無課金”にも優しく、気楽に遊べるところがすばらしく、おかげで心おきなくプレイしています(笑)。ゲームの中で努力することがすごく楽しくて、そのなかでいろいろ経験ができるんです。



**黒瀬 敬史** さん  
工学部 情報システム学科  
IT専攻 3年

MY FAVORITE GAME

**大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL**  
(任天堂)

体力がなくなっても  
遠くまで吹っ飛ばせれば  
逆転勝ちも！

他の格闘ゲームにはない「パーセント」という概念があって、それによってどこからでも逆転ができるのが面白いんです。昔からあるゲームなので、プレイヤー人口も多くて年齢層も幅広いんですよ。



**山口 凜** さん  
人間社会学部 心理学科  
ビジネス心理専攻 1年

MY FAVORITE GAME

**ラストビリオドー 終わりになき螺旋の物語ー**  
(Happy Elements)

仲間を増やしていきながら  
ギルド(チーム)同士でバトル  
空き時間でのプレイにも最適

なんといってもストーリーが抜群に面白い！！だから普段ゲームをやらないような人にもオススメしかりたくなるくらい(笑)。このゲームのおかげで“人間力”がアップしたとも感じています。





# CLUB ACTIVITIES

クラブ活動紹介

埼玉大のクラブ・サークルの  
詳細はWebをチェック!



## FOOTBALL

サッカー部  
(埼玉大学サッカー 1部リーグ)



今成 知尚 監督

### MANAGER'S MESSAGE

「埼玉工業大学のサッカー」として、勢いとパワーだけでなく、相手を見て判断・展開できるチームを作ろうとしています。「埼玉大のサッカーだからここに入りたい」と思ってくれる人に入ってきて欲しいですね。

### STUDENT'S VOICE

私は4年生ですが、5カ年計画に1年しか関われないからと手を抜かず、後輩に良いものを残していきたいと気持ちを入れて練習しています。

(人間社会学部 情報社会学科 4年 天野 孝大さん)



## しっかりと「フットボール」をするための 5カ年計画で“埼玉大のサッカー”を

「埼玉大のサッカー」というブランドを確立させるべく、チームが一丸となって「5カ年計画」に取り組んでいるサッカー部は、「しっかりと『フットボール』をやろう」を合言葉に、練習に明け暮れる日々を過ごしています。それは、体力や技術を鍛えるだけでなく、常に考え、判断・体現できる人としての成長の機会でもあり、監督・コーチによってその環境が保たれています。



公式ウェブサイト



twitterアカウント

## TABLE TENNIS

卓球部  
(関東学生卓球リーグ 2部)



兼吉 道策 監督

### MANAGER'S MESSAGE

30年連続出場となる全国大会(団体の部)で、3年連続ベスト8に入賞いたしました。いまは1部リーグ定着を目指して練習に励んでいます。部員に伝えているのは常に考えること。考え方が変われば行動が変わり、行動が変われば人生も変わります。

### STUDENT'S VOICE

卓球は、狭い競技領域の中で瞬間的に相手の戦術を考えながら戦うところが魅力。埼玉大のチームは明るくて団結力が強く、本当に入って良かったです。

(人間社会学部 情報社会学科 4年 小田 康介さん)



## 常に考え続け、行動に反映させていくこと 楽しみながらも互いに切磋琢磨を

平成元年に強化スポーツ指定を受けて以来、関東1部リーグに17年在籍した経験を生かし、インカレ上位入賞、オリンピックへの出場と、卓球部は着実に実績を上げ続けています。試合の成績だけでなく、プロリーグの新設など全国的な卓球人気と競技人口が増すなか、地域の愛好者からプロ選手まで、幅広い交流に刺激を受けながら、部員たちは互いに切磋琢磨しながらプレーし、人間的にも成長を続けています。



twitterアカウント



facebookアカウント



## BASKETBALL

バスケットボール部  
(関東大学リーグ 3部)



伊藤 雄太 コーチ

### MANAGER'S MESSAGE

バスケットボール部としては2部リーグ昇格を目指しています。部員には、部活動だけではなく、授業や普段の生活も両立でき、その後の人生にも活かせるようなバスケットボール部でありたいと思っています。

### STUDENT'S VOICE

今は部員の大半を下級生が占めていますが、上下関係もあまりなく、プライベートでもよく一緒にいます。いつかはインカレで全国のチームと対戦したいですね。

(人間社会学部 情報社会学科 2年 宮崎 恭輔さん)

## 選手が自主的に運営していくバスケット部に チーム内のコミュニケーションを重視

ボールの弾む音が響く体育館で、時折笑顔を見せながら練習に打ち込むバスケットボール部。その練習内容を含め、部活動は学生が主体となって運営されています。「監督ありき」で指導を待つような受け身のチームではありません。選手自身が技術の向上ばかりでなく、チームの一員としての自覚や責任を育てようと努力する姿のそばで、監督やコーチが寄り添い、成長を手助けします。目下の目標は、リーグ昇格!



公式ウェブサイト



## RUGBY FOOTBALL

ラグビー部  
(関東大学リーグ 4部)



菅谷 由幸 監督

### MANAGER'S MESSAGE

高校時代になかなか勝てなかったり試合に出られなかったり、といった悔しい思いをしてきた人に来てもらって、一緒に勝つ喜びを知ってもらいたいですね。ラグビー好きはもちろんのこと、未経験の人も歓迎しています。

### STUDENT'S VOICE

「ゲームで攻めの流れを作れる選手」を目標に、厳しい練習を続けています。学年の隔たりなくフラットに接して意見を言い合うことができる素晴らしいチームです。

(工学部 機械工学科 1年 石毛 悠咲さん)

## これまでの経験も糧に 一緒に勝つ喜びと人としての成長を目指して

高校時代からラグビーを続けている部員から、他のスポーツからの転向組まで、経験も実績も異なる選手たちが、たくさんの有力選手を輩出してきたグラウンドでボールを追いかけしています。そんな様々な背景を持つ部員達が、ひとつのチームとして互いに高め合いながら結束して練習に励み、3部リーグへの昇格とともに人としての「即戦力」として成長するため、日々練習に励んでいます。



公式ウェブサイト



twitterアカウント

CLUB ACTIVITIES